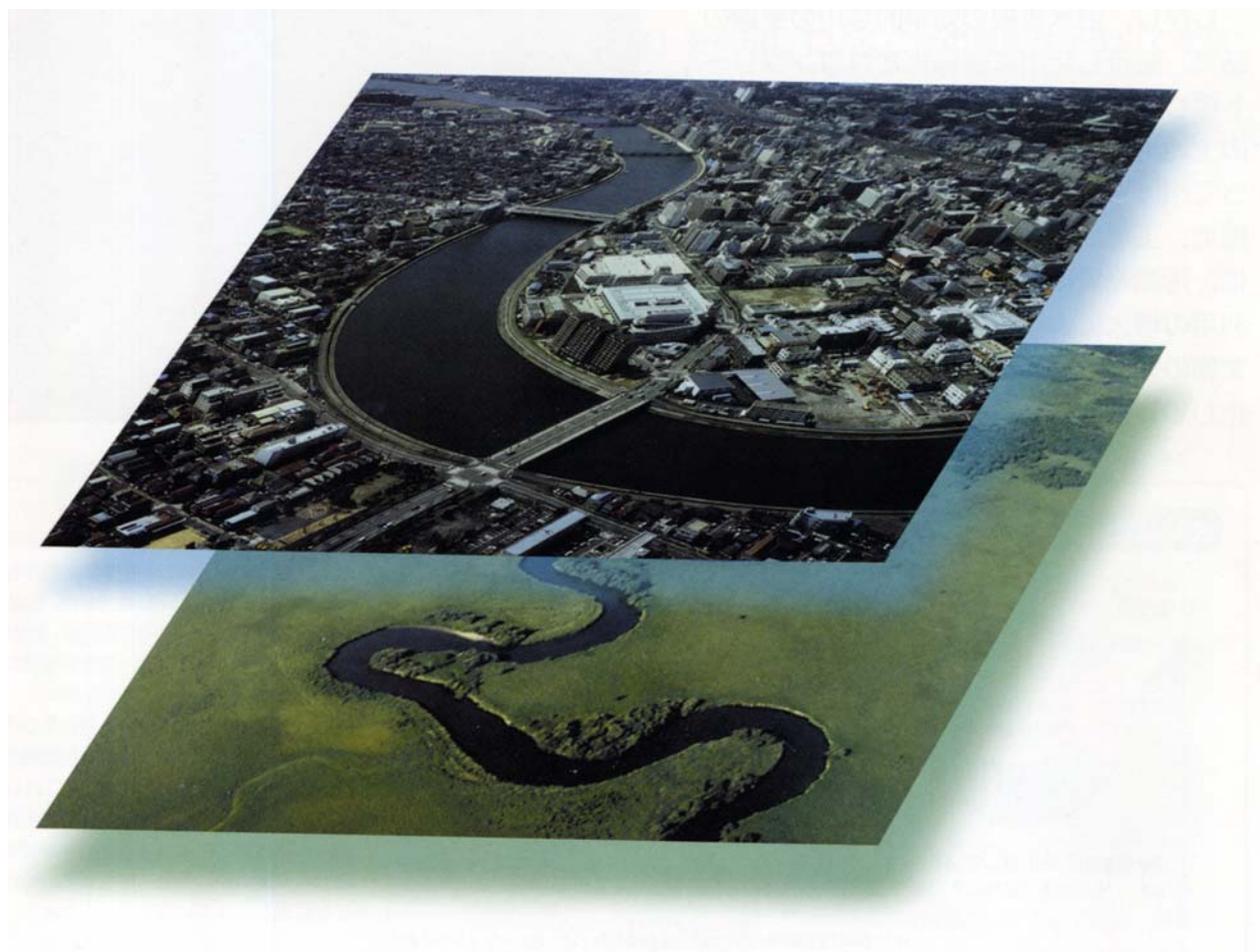


自然と共生する社会の実現に向けて

自然再生事業

川本来の姿を甦らせる川づくり

～計画から実施までの考え方（案）～





本テキストについて

川の自然再生事業は、河川環境の保全を目的とし、流域の視点から「川のシステム」を再生・健全化する初めての河川事業として進められています。パンフレット「川本来の姿を甦らせる川づくり 自然再生事業」は2002年4月に作成され、現在でも自然再生事業を一般向けにわかりやすく紹介するものとして多方面で活用されています。

本テキストは、表紙のイメージはこのパンフレットを継承していますが、川の自然再生に関わる実務者の参考となるものを目指して新たに作成したものです。自然再生事業の計画から実施までのさまざまな段階を想定し、それぞれで留意すべき事項や取り組みの際に参考となると思われる事例、考え方などを掲載しています。特に計画を策定するための「事前調査」の段階を充実させました。また、いくつかの先進的に行われている事業も詳しく紹介しています。

今後の自然再生事業の進展につれて、多くの成果・知見が得られるとともに、新たな課題も見出されてくると考えられますので、それらに応じて本テキストを適宜改訂・更新する予定です。

2005年3月

目 次

はじめに	1
川のシステムの再生	3
自然再生事業の実施フロー	6
問題の認識からモニタリングまで	7
① 問題の認識	7
② 既存資料のとりまとめ	9
③ 原因の想定	12
④ 現地調査及び分析	15
⑤ 原因の絞り込み～⑥ 自然再生事業の必要性の判断	16
⑦ 目標の設定	18
⑧ 計画案の作成	20
⑨ 予測・分析～⑩ 計画の決定	22
⑪ 段階的实施・管理	23
⑫ モニタリング・評価	25
国内事例1 釧路川	27
国内事例2 鬼怒川	29
国内事例3 松浦川	31
国内事例4 円山川	33
国内事例5 木曾川	35
国際的な取り組み	資料-1
法令	資料-2